



落語  
鶯春亭梅八

演目/おもしろ小噺、真田小僧

UMEHACHI OUSHUNTEI



浪曲  
国本はる乃

演目/若き日の大浦兼武、他 一席

HARUNO KUNIMOTO



曲師  
広沢美舟

MIFUNE HIROSAWA

# 浪曲と落語の演芸会

日本最年少の浪曲師・国本はる乃がギター文化館に初登場！ 父・鶯春亭梅八と夢の親子競演！！

2025. 4月5日(土)

13:45開場／14:15開演／16:15終演予定

チケット(全自由席)：一般前売券3,000円／学生前売券1,500円(当日券各500円増)

主催&会場：ギター文化館

〒315-0124茨城県石岡市柴間431-35

公式サイト

<https://guitar-bunkakan.com/wp/>

専用駐車場&臨時駐車場あり

お問合せTEL.0299-46-2457

mail@guitar-bunkakan.com

ご予約(1/8水10:00～)

① 電話受付 ☎0299-46-2457

取り置き・当日精算 ③予約申込後のお客様都合によるキャンセル・変更はできません。

② WEB予約受付

<https://guitar-bunkakan.com/wp/concert-2/reservation/>

取り置き・当日精算 ③予約申込後のお客様都合によるキャンセル・変更はできません。

③ 電子チケット

<https://teket.jp/4873/44750>

(クレジット決済手数料無料、コンビニ決済手数料220円)



③各種優待受付はギター文化館のみ。

APOYO会員・JAF会員・常陽芸文会員ほか。併用不可。

③準備の都合上、APOYO会員の方も事前予約願います。

日本の伝統的な話芸である、浪曲と落語。音楽施設であるギター文化館での公演は、これらの芸術に新たな魅力を加えます。浪曲は、語り手が三味線の伴奏とともに物語を語る形式で、感情豊かな声とリズムが特徴です。落語は、一人の演者が座布団に座り、様々なキャラクターを演じ分けながら物語を展開します。ギター文化館のドームホールの音の響きが、それぞれの語りの細やかなニュアンスをさらに引きだてます。観客の皆さまには臨場感と深い感動を体験していただけることでしょう。

## 出演者 プロフィール

### 浪曲師：国本 はる乃（くにもと はるの）

1996年生まれ。茨城県稲敷市出身。師匠は国本晴美。

入門のきっかけは、小4の時に父の友人宅を訪問し三味線を勧められたが手が小さく棹が握めず、三味線ではなく父の旧知であった国本晴美師匠に入門し浪曲を習い始めた。2013年12月1日、木馬亭浪曲定席にてプロ初舞台。2016年9月25日、二十歳で名披露目をした日本最年少浪曲師。

2022年より日本浪曲協会理事。

2023年、令和5年度花形演芸大賞 銀賞受賞。

2024年5月より落語芸術協会所属。



### 曲師：広沢 美舟（ひろさわ みふね）

(一社)日本浪曲協会、(公社)浪曲親友協会所属。

平成27年(2015) 沢村豊子門下、

令和4年(2022) 沢村改め、広沢美舟。

※曲師(きょくし)とは、浪曲の三味線奏者のこと。



### 落語家：鶯春亭 梅八（おうしゅんてい うめはち）

1954年生まれ。千葉県香取郡神崎町出身。

子どもの頃より人前でおしゃべりするのが大好きで、大学時代に落語研究会に入り、故7代目橘家円蔵師匠に師事し古典落語の面白さにとりつかれる。演芸場(寄席)で下足番をしながら噺をどんどん覚える。同時に寄席の看板の師、橘右近師に師事し寄席文字を習い始める。これが独学となり梅八流江戸文字になるまで30年。やっと人前で書けるようになったがまだまだ修行中!現在、稲敷市江戸崎に落語一門「福の家」(社会人落語)を結成し、落語・演芸と活躍中。茨城県稲敷市江戸崎在住。浪曲師・国本はる乃の父。



詳しいACCESSはこちら



行き/JR常磐線羽鳥駅西口バス停「関鉄グリーンバス・板敷山前行13:45発」  
→「ギター文化館入口着14:00→徒歩5分」  
帰り/ギター文化館入口16:31発→羽鳥駅着16:50



QRコードを読み取って下さい。

